



比ケソン市

低炭素都市を実現

オリコンサル 政策対話に参加

オリエンタルコンサルタツは、大阪水・環境ソリューション機構が主催、大阪市とフィリピン・ケソン市が共催した「ケソン市低炭素都市形成の実現に向けた市長級政策対話」に参加し、「都市間連携によるJCM（2国間クレジット制度）プロジェクト」と題して話題提供した。

あいさつする堤安希佳
海外事業部長

かわる経験やノウハウを活用して途上国で低炭素化を推進する、環境省の「低炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務」に、ケソン市での環境関連事業を提案、採択されている。

政策対話は、8月30日に締結された「ケソン市低炭素都市形成の実現に向けたケソン市―大阪市の協力関係に関する覚書」に基づき、両市における情報共有や意見交換を目的に実施され、大阪市の田中清剛副市長、ケソン市からはハーバート・M・バウティスタ市長らが出席した。

環境省の委託業務に採択されたケソン市での提案事業は、「工場などへの省エネ設

備導入支援事業」と「廃棄物処分場などへの太陽光発電導入、車両の低炭素化支援事業」の2件。前者は産業分野にかかるアクションプランリストの策定支援、工場などにおける省エネ事業の実現可能性調

査など、後者は交通分野にかかるアクションプランリストの策定支援、ごみ収集業者のトラック更新・効率化の実現可能性調査、太陽光発電導入の実現可能性調査などを行う。